

プレスリリース

マスイデア・益田建設が新しい工務店支援システムと新工法を公開

(株)マスイデアと(株)益田建設(代表 益田修一 埼玉県八潮市)は6月24日に埼玉県八潮市において、(株)益田建設が推進する新工法「ハイブリットユニット工法」の上棟を公開するとともに、(株)マスイデアが推進する新しい工務店支援システムの発表を行った。当日は工務店、メーカー、研究機関、設計事務所、行政等約150名以上が熱心に見学し関心の高さがうかがえた。

「ハイブリットユニット工法」は、木造軸組工法と枠組み工法を融合させた工場生産の木造在来金物軸組工法の一つ。軸組は、許容応力度計算を実施して加工された梁・柱を使用し、ツーバイフォーなどの枠組み工法の強度を付加させた高い強度と、ユニットの寸法誤差が1ミリ程度となる高精度が特長である。柱・梁・枠材・サッシ・断熱材・外装材下地までを大型の壁ユニットや屋根ユニットとして工場で製造し、現場で専門のワーカーが組み立てを行う。最短一日で、屋根ルーフィング・サッシ取り付け・断熱施工・間仕切り壁下地まで施工完了できる。発表日には、最大幅4.5メートルの大型壁ユニットを含む32坪の住宅の上棟が見学者に披露された。当日は1階部分の施工は約1時間で終了し、午前中に小屋組まで完了させ、その施工スピードの速さが目を引いた。30坪程度の住宅では上棟後30日~40日程度の完成を予定している。同工法は職人や大工の不足および職人の高齢化が懸念される住宅業界において画期的な工法と言える。

新しい工務店支援システムは、信託口座を利用した第三者預託(エスクロー)による決済方式を取り入れることで、工務店が倒産した場合に施主の建築資金の保全及び工事業者への代金支払いを確実なものとする。さらにその際には、建築工事の中断が少なく残工事を完了させる完成保証が施主に付与される。また、工務店の仕入れにおいてもメーカーから直販に近い流通形態とすることで大幅なコストダウンが可能となる。同システムでは、「ハイブリットユニット工法」による建て方までの構造躯体と、協力メーカーの設備・建材等を希望する工務店に提供する。工務店の経営改善にはコストダウンだけでなく、詳細な見積と実行予算の管理、原価の分析、工程表による工程管理が欠かせない。同社では、新たに開発したクラウドシステムによって見積・実行予算・工程表・出来高・現場検査データ・現場状況写真・住宅履歴情報を一元管理し、工務店の業務管理体制を支援する。高品質な規格型住宅にとどまらず、自由設計フリープランの住宅に対しては、同社で実績のある三次元CAD連動のマスイデア積算システムを希望する工務店に貸与し、指導を行う予定。

「ハイブリットユニット工法」は現在、全国の20社の製造工場で生産の準備を進めており、工務店からの関心も高い。資材供給に関しては、提携メーカーが協力体制を取る予定。窓は樹脂窓の採用を視野に置き、YKKAP デザインセンターと基本プランの検討を行っている。その他、サイディングの供給に協力するケイミュー、設備開発でトクラス、構造金物でタツミなどのメーカーが全国規模での協力体制を組んでおり、品質管理・出来高管理においては提携先検査機関であるホー

ムリサーチが全面協力する。

本プロジェクトは、高品質で資産価値が持続するストック型住宅の地域への普及を目標とし、住宅履歴情報の提供や地域工務店の苦手とする長期優良住宅・低炭素認定住宅・住宅性能表示住宅がCADと連動した積算ソフトによって、システムチックに建築が可能となる。現在、業界関連事業者で運営主体の設立を検討中で、秋以降に全国で年間 2000 棟規模の供給体制を整備し、工務店の募集を開始する予定。

今回上棟した、実験棟は 7/13(日)までの期間限定で見学が可能。(要問い合わせ)

問い合わせ先 (株)マスイデア 048-998-5555